



イケア・ジャパン株式会社 東日本こどもプロジェクト 主催

2015年 スウェーデン幼児・児童教育研修

Inside Sweden: Childhood Education Program for Professional Training in 2015



① 目的

- 2003 年以降北欧のアウトドア環境教育を視察し、その理論的裏づけとなる研究を行っている宮城学院女子大学発達臨床学科とイケア・ジャパン株式会社「東日本こどもプロジェクト」が協働し、次世代の教育支援プログラム「スウェーデン幼児・児童教育研修」を実施します。
 - (1) 東日本大震災に起因する被災地域の保育ニーズへの対応
 - (2) 長期的な保育方法・技術の向上
 - (3) 日本と北欧諸国との異文化交流
 - (4) 次世代の指導者育成機会の創出
- 本研修では、次世代を担う保育者を支援することを目的としています。

② 主催 イケア・ジャパン株式会社「東日本こどもプロジェクト」

※イケア・ジャパン株式会社「東日本こどもプロジェクト」

「大きな勇気と元気をもって未来に向かって頑張ってもらいたい」と願い、2012 年 3 月より 2 年間の東日本大震災長期支援として子どもたちのサポートを行なっています。

③ 共催 宮城学院女子大学発達臨床学科

④ 対象

- 以下の条件のいずれかに該当する方
 - (1) 東日本大震災に起因する被災地域の保育所・幼稚園に勤務し、次世代の教育・保育を担うことが期待されている者(指導的立場を期待されている保育者を優先します)
 - (2) 主催・共催・後援に記載の組織、あるいはそれらに関連する勤務先の長による推薦状を得られる方
※参加希望者には、提出書類に基づいて、事前相談を行います。なお、事前相談の結果、参加をお断りすることがあります。ご了承ください。

⑤ 定員 12 名(1 施設から 1 名まで)。応募者多数の場合、人数を制限する場合があります。

⑥ 研修期間・場所・内容・費用

- (1) 研修期間: 2015 年 2 月 27 日(金)から 3 月 8 日(日)までの 10 日間
- (2) 研修場所: スウェーデン国内。ストックホルム、リンショーピング、モタラ、マルメ周辺
- (3) 研修内容: プリスクールと小学校を訪問します。また、アウトドア環境教育研修及びイケアのワークショップを受講していただきます。
- (4) 研修費用: 最大 30 万円を支給(航空券と滞在費用を上記の範囲内で支給)

⑦ 応募方法

- 本研修プログラムへの参加に際して、参加申込書(エントリーシート、志望動機、推薦状)を提出していただきます。

- (1) 募集期間: 2014年10月上旬から11月20日(木)17:00必着
- (2) 提出書類: ※下記の書類3点の現物と電子データの両方でご提出ください。

「エントリーシート」(別紙1:エクセルファイル)

「同意書」(別紙2:ワードファイル)

- 勤務先の長からの推薦ならびに研修への同意書

「レポート課題(3つの課題について、各800字程度)」(別紙3:ワードファイル)

- 東日本大震災が保育環境に及ぼした影響について、どのようにお考えですか。(例:東日本大震災以降、保育環境の変化、子どもの変化など、具体的に記述してください。)
- 今回当研修に応募された動機は何でしょうか。(例:今回の研修を通して、ご自身が学びたいこと、期待していることを具体的に記述してください。)
- このような海外での研修を、参加後、どのように現在の保育の課題解決に役立てられると思われますか。(例:今回の研修を受けるにあたって、職場から期待されていることを具体的に記述してください。)

- (3) 提出先: ※電子データでの提出をお願いします。

宮城学院女子大学 発達臨床学科 「スウェーデン幼児・児童教育研修」担当:西浦宛

Email: nishiura@mgu.ac.jp (西浦)

- 個人情報の取り扱いについて:エントリーシートに記載していただく個人情報などは、研修の実施上必要となる内容の確認及び参加者との連絡の際に使用します。これらの目的以外には使用しません。

⑧ 本研修の特色と期待される成果

- 本研修プログラムでは、北欧諸国のアウトドア環境教育を現地視察します。アウトドア環境教育は、次のような効果が期待されています。

- (1) 主体的判断・行動による問題解決
- (2) 他者との協調性
- (3) 健康と体力

- 本研修プログラムは、次のような成果を期待しています。

- (1) 先端的研究に基づく授業と保育実践を視察することで視野を広げる助けを得ること
- (2) 「持続可能な開発のための教育(ユネスコ, 2005)」推進の観点から、保育の質向上に関する将来像を描くこと

●参加者の声(2014年スウェーデン研修)

東日本大震災を乗り越え、地域の子どもとその保護者を支える保育所の職員(園長、保育士)が、それぞれの立場から、スウェーデン研修の学びを報告しています。

- ・南三陸町は震災被害により子どもたちの活動環境が著しく狭められていますが、現状でも「より良く活動し、より逞しく生きる力」を育める環境作りを職員で模索したいと考えます。そして、今しかない子どもたちの成長を保護者にも分かりやすく提示できる記録・「ドキュメントファイル作り」も検討していきたいと思います。(保育士 E.S.)
- ・「学習し人生を切り開いていくことが大切」と語られていましたが、それは単に机上の学習で何かを理解できるようになるということだけでなく、実体験を通した学びが机上の学びと結びつくことであり、それを保育所保育指針や幼稚園教育要領で考えれば「生きる力」を培っていくことなのだと思います。(園長 K.T.)
- ・創造性が発揮される場所という部分で「①トイレ②お風呂③バスの中④新しい環境」というお話を川崎先生がお話してくださいましたが、その意味で今回の研修は、最高の機会でした。周りのものすべてが非日常空間で、素敵な刺激がいっぱいで人生の中でも本当に充実した時間でした。(保育士 H.S.)
- ・自然を重視する流れもあって、リサイクル意識の動機付けがしっかりと小さい頃からあると感じました。それは、種から芽が出て育ち実をつける、ヤギの糞が自然界では栄養になるなど様々な生態系の中からも言える事、それは、人間から排出される糞尿もそうであり、それがエコにもつながっているという流れをきちんと体験の中から身につけさせているという点である。(園長 M.T.)
- ・今回の視察内容を深め研究していくためには、互いに同じ問題意識をもって論議をする必要があることを思う時、出来れば今後、双方向の交流になるようにスウェーデンの先生方にも日本にお出でいただき、日本の保育現場を視察いただいた上での意見交換が出来ればもっと深い交流になっていくだろうと思いました。(園長 N.I.)
- ・日本は北欧のような広大な土地や自然があるわけではありません。PM2.5 や放射能の影響、そして被災地においては瓦礫が山積して子ども達が野外で遊べる環境が十分に確保できない場所もあります。そのような中で、野外活動を積極的に行う事で健康増進を促し、集中力を高め、コミュニケーション能力を良くすることを知りました。その実践として多くのプレスクールを見学したことで、具体的に子ども達に伝えていくための方法や手段を学ぶことができました。スウェーデンの土地で実際にこれらの経験が出来たことは私にとって大きな学びでした。(保育士 C.N.)
- ・IKEAの現デザイナーEVAさんの話しの中に、とても印象に残っていることがあります。「創造性にこうでなければならない」ということはありません。また、創造性はどの仕事に就いたとしても生かされるものです。好きな物やきれいな物、自然が近くにあることは、創造性を育んでいくことにとっても大切です。(保育士 Y.O.)
- ・スウェーデンの施設では、その保育室のレイアウトだけでなく、装飾の仕方についても十分な配慮がされており、壁面に装飾だけでなく様々なものを貼り付けて、かえって落ち着けない保育室にしてしまっていることが多く見られる日本とは大きく違うものを感じた。(保育士 M.K.)
- ・スウェーデンはたくさんの移民を受け入れていることで、異文化を知る機会が多く、異文化を知ること、自分たちの国に関心を持ち、理解することで小さな子どもたちでも愛国心を持っていることに驚いた。日本は島国だからという理由が大きいと考えられるが、なかなか異文化に触れる機会が少な

いように感じ、もっと世界に目を向けるべきだと感じた。(保育士 M.K.)

- ・スウェーデンの幼児児童教育研修を終え、取り組みたいと思ったのは、アウトドア環境教育の実践を含めたより創造性の豊かな教育と子どもたちの共同作業、そしてエコ活動の三つです。自然の中で五感を使った遊びや学習を行うにより、ストレスが少なく、また人間本来の感覚を呼び覚ましたり、新たな自分の表現方法を発見したり、好奇心いっぱいの子どもたちが想像でき、とても魅力的であると感じ、本園でも行っていこうと思っています。(園長 Y.M.)

⑨ その他(お問い合わせ先)

- 本研修プログラムでは、下記の事項について、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

- (1) 本研修において、日本出国前後及びスウェーデン滞在中に食費および現地交通費などが発生することがあります。
- (2) 本研修の事前・事後に課題レポートをご提出いただきます。
- (3) 本研修終了後、研修報告会の開催を予定しております。その際、研修の概要と成果を一般に広く紹介していただきます。
- (4) 本研修内容に関するアンケート調査を実施する場合があります。アンケート結果は次回の研修企画に反映します。
- (5) イケア・ジャパン株式会社「東日本こどもプロジェクト」及び宮城学院女子大学発達臨床学科による環境保全・社会貢献活動の一環として、本研修の内容を TV や新聞などのマスメディアを通して紹介する場合があります。

●本研修プログラムのお問い合わせ

- (1) イケア・ジャパン株式会社「東日本こどもプロジェクト」 担当:北野宛

〒981-3205 住所: 宮城県仙台市 太白区あすと長町 2 丁目 1-1

E-mail: yoko.kitano@ikea.com

URL: http://www.ikea.com/ms/ja_JP/campaigns/sustainability/kodomo_mirai/

- (2) 宮城学院女子大学 発達臨床学科 担当:足立・西浦宛

〒981-8557 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘 9-1-1

TEL:022-279-1311(代表)

URL: http://www.mgu.ac.jp/main/departments/ds/disaster_support/index.html

※宮城学院女子大学のWEBサイトから実施要項、エントリーシート(申込書)、同意書のダウンロードが可能です。

●本研修スケジュール(案)※訪問先については調整中のため変更になる場合があります

	DATE	CITY NAME	TRAFFIC	SCHEDULE
1	27FEB2015, Fri.	Sendai Narita	Dep.16.00 Arr. 21.30	Meeting time 13.00 at Sendai Station Go to Narita Airport with reserved bus [Stay at Narita Airport Rest House]
2	28FEB2015, Sat.	Narita Copenhagen Stockholm Arlanda	TYO-CPH Dep. 12:30 SK-984 Arr. 16:05 CPH-STO Dep. 18.00 SK1426 Arr. 19.10	Move to 1st terminal at 10.30 After arrival, connecting flight to Stockholm by way of CPH. < · Flight · > [Stay at Stockholm]
3	1MAR2015, Sun	Stockholm	Dep. 8.20 Arr.15.10	After breakfast, 8.20-15.10 Full day sightseeing 17.00 Dinner 18.30 Meeting about "Inside Sweden" <Breakfast · · > [Stay at Stockholm]
4	2MAR2015, Mon.	Stockholm Motala	Dep. 8.30(BUS) Arr. 9.00 Dep. 12.00(BUS) Arr. 15.00	After breakfast, 9.00-12.00 preschool or primary school in Stockholm 15.00- Outdoor Education Seminar in Motala 19.00- Dinner 20.00- Reflection <Breakfast · · > [Stay at Motala]
5	3MAR2015, Tue.	Motala	Dep. 8.30 Arr. 9.00	9.00-11.00 preschool or primary school in Motala 14.00- 17.00 Outdoor Education Seminar Swedish School System Swedish Preschool 19.00- Dinner 20.00- Reflection <Breakfast · · > [Stay at Motala]
6	4MAR2015, Wed.	Motala Linköping	Dep. 13.00(BUS) Arr. 14.00	After breakfast, Outdoor Education Seminar 14.00-17.00 Gamla Linköping and Linköping University 19.00- Dinner 20.00- Reflection <Breakfast · · > [Stay at Motala]
7	5MAR2015, Thu.	Linköping Hyltebruk Malmö	Dep. 8.30 (BUS) Arr. 9.00 Dep.13.00 (BUS) Arr. 16.00	After breakfast, 9.00-13.00 Visit Elias Frieds Skolan in Hyltebruk 16.00-19.00 Visit IKEA in Malmö 19.00- Welcome dinner 20.00- Reflection <Breakfast · · > [Stay at Malmö]
8	6MAR2015, Fri.	Malmö Copenhagen	Dep. 8.30 Arr. 9.00	After breakfast, 9.00-12.00 Workshop (Group Discussion) 12.00-13.00 Lunch 13.00-16.00 Workshop(Make a report) 19.00 Farewell party <Breakfast · · > [Stay at Copenhagen]
9	7MAR2015, Sat.	Copenhagen CPH international Airport	Dep.15:40 SK-983	After breakfast, Free Seminar in a half day 12.00 Copenhagen kastrup <Breakfast·Flight·Flight>
10	8MAR2015, Sun	Narita Sendai	Arr. 9.30 Dep 10.30 Arr. 16.30	After arrival, move to bus terminal. Move to Sendai. Go home from Sendai Station